

# のみだより

## 広がれ！手話への理解

～能美市手話言語条例を可決～

3月定例会最終日、聴覚に障がいがある方や手話サークルの皆さんが本会議の傍聴に訪れました。

能美市手話言語条例が可決する瞬間を見届け、みんなで喜び合いました。



### CONTENTS

定例会報告	..... P 2	一般質問	..... P 7
委員会審査報告	..... P 3	行政視察報告	..... P13
予算決算常任委員会審査報告	..... P 4	PTA連合会との意見交換会	..... P14
討論・賛否一覧	..... P 5	追悼の言葉・議会日誌・議会日程・編集後記	..... P16
代表質問	..... P 6		

特集

PTA連合会  
×  
市議会



## 平成30年3月定例会

今定例会は、2月28日(水)から3月23日(金)までの24日間の会期で開かれました。市長から提出された議案46件をすべて可決・同意しました。

また、議会議案として「大雪による除雪体制の強化及び被害に対する支援を求める意見書」を提出し、全会一致で可決。このほか、「議会基本条例等検証特別委員会」及び「人口減少等対策特別委員会」の設置に関する決議を全会一致で可決しました。

主な議案の内容は以下のとおりです。

### ●平成30年度能美市一般会計予算

## 平成30年度一般会計予算は226億3,000万円

平成30年度当初予算は、「暮らしやすさを日本一、実感」でき、多くの人や企業から「選ばれるまち」を目指して、将来を見据えた持続可能なまちづくりの礎を築くための予算が編成されました。一般会計、特別会計、企業会計の予算総額は、408億9,710万円であり、前年度予算と比較して1.6%の増となりました。そのうち、一般会計の総額は、歳入歳出それぞれ226億3,000万円。前年度予算と比較して8.9%の増、政策事業を盛り込んだ6月補正予算を加えた額と比較しても1.3%の増となりました。

### ●平成29年度能美市一般会計補正予算(第6号)

### ●平成29年度能美市一般会計補正予算(第7号)

## 農業用ハウス等の復旧対策費として約3,500万円を追加補正

平成29年度能美市一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ4億8,000万円を追加し、予算の総額が235億6,100万円となりました。

1月中旬から北陸地方を中心に大雪に見舞われたことにより、農業用ハウス等に大きな被害が発生。その復旧対策費を農業者へ補助するための交付金として3,595万円が追加補正されました。また、市道や公共施設等の除排雪を昼夜問わず実施したことにより、除雪・消雪事業費として、3億475万円が追加補正されました。

なお、その他の一般会計補正予算の主な内容については次のとおりです。

### ●産業振興奨励補助金(281万円)

工場の新設や設備の設置等により、新たに投資した土地、家屋及び償却資産課税標準額が3,000万円を超える企業に対し補助金を交付するもの

雪の重みで損壊した農業用ハウス▶



### ●能美市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例

## 市指定ごみ袋が3種類に。持ち手つきで小サイズのごみ袋が新たに加わります

ごみ収集に係る市指定ごみ袋は、従来は、40リットル(大サイズ)と20リットル(中サイズ)の2種類でしたが、持ち手つきで容量が少ない10リットル(小サイズ)が追加されることになり、全部で3種類となります。

小サイズの指定ごみ袋は、1枚につき15円となります。

小サイズのごみ袋は一人暮らし高齢者等に配慮したもの。今年の秋頃から導入される予定です▶



●能美市手話言語条例の制定

# 手話を使いやすい環境を整備

手話への理解促進と普及を図り、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現を目指すため「能美市手話言語条例」が制定されました。

主な内容は、市は、手話を使いやすい環境整備を進めること、市民は、手話に対する理解を深めるよう努めること、事業者は、手話を必要とする人が利用しやすいサービスを提供するよう努めること等が明記。このほか、手話に対する基本理念や基本施策等が盛り込まれています。



▲手話の講習を受ける市の新規採用職員

## ◆特別委員会を設置しました

### 議会基本条例等検証特別委員会

議会基本条例の検証や議会の活性化、改革に関する協議を行います。

委員長 田中策次郎  
副委員長 山本 悟  
委員 米田 敏勝、仙台 謙三  
北村 周士、佐伯富美子

### 人口減少等対策特別委員会

人口減少対策を重要な課題として捉え、とりわけ人口減少の著しい地域についての調査、研究を行います。

委員長 嵐 昭夫  
副委員長 開道 昌信  
委員 近藤 啓子、居村 清二  
田中大佐久、卯野 修三

### 能美市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例

総務

#### ◎ 小サイズの指定ごみ袋の手数料を1枚につき15円とした根拠は何か

Ⓐ 原価割れしない程度で区切りのいい金額に設定した。



### 委員会審査報告

市長から提出された議案等は、4つの常任委員会に付託し、より詳細な審査を行っています。主な審査内容は次のとおりです（予算決算の審査内容はP4に掲載）

委員会名	委員長	副委員長	委員
総務	田中大佐久	仙台 謙三	杉田 隆一、倉元 正順 山下 毅
産業経済	米田 敏勝	田中策次郎	東 正幸、佐伯富美子 卯野 修三
教育福祉	山本 悟	北村 周士	近藤 啓子、居村 清二 嵐 昭夫、開道 昌信
予算決算	田中策次郎	嵐 昭夫	議長を除く全議員

### 能美市企業立地促進に関する条例の一部を改正する条例

産業経済

条例で定める助成金の交付対象地区に、農村産業法の規定により定めた産業導入地区を加えるもの。

#### ◎ 助成金の対象地区が加えられたが、商業、大型店等も含むのか

Ⓐ 業種としては工業5業種（製造業、道路貨物運送業、倉庫業、梱包業及び卸売業）に限定せず農村地域での立地ニーズが高いと見込まれる産業が対象となる。今後、国及び県と協議し対象業種を検討していく。

### 能美市手話言語条例の制定

教育福祉

#### ◎ 手話対応できる職員の人員体制は。また、どう普及させていくのか

Ⓐ 手話通訳者の資格を持った人を正規に採用し、議会等への派遣についても、県聴覚障害者センターと相談をしていく方針である。また手話奉仕員養成講座を実施しており、現時点で約100名が修了している。

# 「使い道」を厳しく審査

今定例会では、市長から提出された平成30年度の新年度予算に関する議案（10件）と平成29年度補正予算に関する議案（10件）について審査が行われました。議長を除いた全議員で構成する予算決算常任委員会全体会で慎重な審査を行ったほか、委員会を3つの分科会に分け、分科会ごとにも集中的に審査を行いました。最終日の本会議で予算決算常任委員長から審査内容の報告があり、採決の結果、すべての議案が可決されました。  
なお、主な審査内容は次のとおりです。

## ◆平成30年度一般会計予算

### 辰口中央児童館建設事業

**児童館の完成予定はいつか、また、どういう備品を購入するのか**

平成31年3月に完成予定。備品に関しては、主なものとして、木製すべり台や木製玩具、トランポリン、卓球台、パソコン等を購入する。

### こくそう里山公園防災対策事業

**どのような対策工法を検討しているのか。また、施工延長はどれくらいか**

重力式待受擁壁工及び落石防護柵工を採用したい。施工延長は、和気小学校体育館の一部にかかっている土砂災害特別警戒区域を、待受擁壁の設置で指定解除する予定であるが、全体の実施規模等は石川県防災アドバイザーの助言を受け進めていきたい。

### 生活習慣改善支援事業

**糖尿病合併症検査助成給付金の助成額はいくらか**

経費にかかる自己負担額の2分の1に相当する額で、上限を5千円とする。

### いい笑顔スマイルアップ事業

**九谷焼の材質を使ったバツジはいくつ購入するのか**

市役所全職員が着用できるように400個購入する予定である。

### 地域生活支援事業

**手話は言語であるという認識を広げるためにどういう予算を計上したのか**

現在も行っている手話奉仕員養成講座に加え、市職員等を対象とした手話講座の開催、イベント等への手話通訳者や要約筆記者の派遣の拡充等を行う。

### 生活困窮者自立支援事業

**予算を増額した理由は何か**

社会福祉協議会に自立相談支援員を配置し、早期の発見・支援に取り組み予定で事業が拡大しているためである。

### 道林第1橋撤去事業

**工事はいつ行うのか、また、市の負担額はいくらか**

平成30年度で詳細設計を行い、工事の施工は平成31年度を予定。工事費は約9千万円を見込んでおり、そのうち、能美市の負担は30%で2千7百万円になる見込みである。

### 学校施設長寿命化計画策定事業

**事業内容はどのようなものか**

基礎的調査を行い、小中学校施設の長寿命化計画を策定するもの。平成29年度は浜小学校、湯野小学校、宮竹小学校、寺井中学校で実施したので、平成30年度は残りの学校で実施したい。

### 地域子育て支援センター事業

**イクメンパパ講座とはどういう内容か**

12歳以下の子を持つ父親を対象とした講演会、5歳児とその父親を対象とした積み木遊び等を実施する。

### シテイプロモーション事業

**どこのサービスイリアでプロモーションビデオを放映するのか**

関東圏では、足利サービスイリア、中京圏では、岡崎サービスイリアを考えている。

### 国際交流事業

**辰口まつりの一角にブースを設置してどのようなことを行うのか**

在住外国人や市民が交流できる国内外のあそびの体験、民芸品や写真の展示等を行う。



▲北陸先端大の留学生やジャパンテントで日本に訪れた外国人も辰口まつりに参加しています

# 討論

## —こんな理由で賛成・反対しました—

3月23日の定例会最終日、各議員から活発な討論が行われました。討論とは、採決の前に議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することを言います。下記にその概要を掲載いたします。

### ●平成30年度能美市一般会計予算

介護保険料や水道料金等の負担が増えている。これでは、景気も良くならないし、生活の不安も消えない。また、「我が事・丸ごと」で、自助、互助で助け合いの地域づくりを推進することは、市民に負担を押し付けるだけで何の救済措置もない冷たい予算と言わざるを得ない。今、必要なのは市民の暮らしを直接応援する施策ではないか。

市税は伸び、地方交付税も増額となっており、社会保障充実に回す財源は十分にあると考える。敬老祝い金の改善やがん検診負担金の軽減もあるが、子どもの保育料の軽減や、給食費補助などの新たな子育て支援を進め、子育て世帯や高齢者世帯に寄り添った福祉の充実を図るべき。

暮らしやすいまちが、移住定住に大きな力となる。住みよさを実感できるまちづくりこそ、地方自治体の本来のあり方。これらの理由により、この予算には賛成できない。

## 反対

近藤 啓子  
議員  
(日本共産党)

## 賛成

開道 昌信  
議員  
(大志)

新年度予算は、重点施策として5つの柱が掲げられている。その主なものとして、『移住・定住促進プラス人出不足対策』の施策は移住・定住の促進、そして喫緊の課題である人手不足の解消に対処するものである。また、『我が事・丸ごとの地域づくり』は、地域生活における課題を地域とともに創っていく「地域共生社会」の実現に向けた施策の更なる推進を図るものである。また、シティプロモーションの推進では、「能美市応援サポーター事業」や「能美市写真コンテスト開催事業」などを通じ、更なる魅力の発掘と発信を行うもの。さらに、『子育て支援プラス交流人口拠点施設』の整備は、「新博物館の建設」に着手し、隣接する「ふるさと歴史の広場」「防災センター」「和田山・末寺山史跡公園」などの周辺施設と連携による相乗効果により、交流人口の拡大につなげるものである。市長の政治信条である「現地現場主義」が貫かれ、タウンミーティング等に寄せられた市民の声に応えた予算となっており、適正と認め賛同する。

### 賛否が分かれた議案

○=賛成、●=反対、議長は採決に加わりません。

議案名	山下 毅	卵野 修三	佐伯 富美子	北村 周士	仙台 謙三	山本 悟	田中 大佐久	田中 策次郎	開道 昌信	嵐 昭夫	南山 修一	居村 清二	倉元 正順	米田 敏勝	東 正幸	近藤 啓子	杉田 隆一
能美市農村地域における工業等の導入を促進するための固定資産税の課税免除に関する条例を廃止する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○
能美市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○
能美市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○
能美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○
能美市企業立地促進に関する条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○
能美市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○
工事委託契約の締結についての議決事項の変更	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○
平成30年度能美市一般会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○
平成30年度能美市国民健康保険特別会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○
平成30年度能美市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○
平成30年度能美市介護保険特別会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○
平成30年度能美市水道事業会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○
平成30年度能美市工業用水道事業会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○

このほかの議案などの審議結果は、能美市議会のホームページをご覧ください。

**代 表 質 問**

代表質問とは、会派を代表した議員が市長の施政方針や予算編成方針に対して行う質問のことです。市政方針や予算編成方針等は関心も高く、質問内容が重複しやすいため、会派の代表者が一括して質問することで、効率的な質問の機会とすることを目的としています。



田中 大佐久 議員 大 志

**平成30年度予算編成**

**Q** 新年度予算にかける市長の  
想い・意気込みを問う

**A** 新年度予算にかける想いは、一言で表現するならば「移住・定住と人手不足対策予算」である。子育て支援・高齢者福祉・健康づくり施策等の支援を更に展開していく。そして、シティプロモーションやふるさと愛の醸成等の施策効果が見え始めている中、住んで良かった、暮らしやすさを日本一実感できる街づくりを進めていきたいと考えている。

**Q** 人手不足・移住定住対策を  
問う

**A** 市主催の企業説明会の開催。併せて市民や近隣の高校・大学生を初め、市外者移住交流体験

ツアーの参加者に市内企業の魅力を伝え、就職につなげていきたい。また、定住促進補助金交付制度の拡充を図り、移住して市内企業に就職する方に対して、最大150万円まで助成をする。そして本庁舎内に「のみ移住サポートセンター」を開設し、石川県との連携強化を図っていきたくと考えている。

**Q** 手話言語条例の制定意義を  
問う

**A** 手話言語・障がい者等コミュニケーション促進検討委員会において意見交換を行った結果として、手話を第一言語とする人である聾者の尊厳を大事にしたい。そして、市民にとって手話が使え  
る環境があることは有益であること等から、今回の成立に繋がったものである。

**Q** 高齢者福祉の拡充を図れ

**A** 高齢者が安心して元気に生活できる支援の充実を図りたい。具体的には、お祝い品を75才及び95才の方にも贈呈する事にした。



山本 悟 議員 大 志

**シティプロモーション**

**Q** 重要施策として掲げているが、  
能美市の知名度向上に向け  
どのように取り組んでいくか

**A** シティプロモーションと都市ブランドの形成について研究を重ね、あらゆる手段を駆使して能美市の知名度向上に全力で取り組んでいきたい。

**循環型社会推進モデル事業**

**Q** 企業版ふるさと納税を活用し  
たこの事業の目的や内容、  
また今後の展開を問う

**A** 能美市では第1号となる企業版ふるさと納税を活用する。豊かな自然環境を守り、資源が循環される社会への転換を促進し、再利用による農産物製品のブランド化や流通、また雇用の創出を目指していききたい。

能美市議会では、3月定例会のみ代表質問を行うことができ、今定例会では、「大志」を代表して2名の議員が代表質問を行いました。

**公共交通システム**

**Q** 公共交通施策は市民満足度  
調査では重要度が高く満足度  
が低い。利便性の高い公共交通  
システムを再構築せよ

**A** 地域活性化による魅力あるまちづくりの実現に向け、能美市に合ったよりよい公共交通システムを構築していききたい。

**企業誘致**

**Q** 人口増加に大きく寄与する  
新たな産業団地造成の計画は  
国や県当局、地元商工会や企  
業等とこれまで以上に連携を  
深め、更なる企業誘致に向け、福  
島町、吉原町などでの産業団地  
造成計画を推し進めていきたい。

**A** 人口増加に大きく寄与する新たな産業団地造成の計画は国や県当局、地元商工会や企業等とこれまで以上に連携を深め、更なる企業誘致に向け、福島町、吉原町などでの産業団地造成計画を推し進めていきたい。

**学校図書館のIT化**

**Q** 学校図書館電算化事業の内容  
は。また今後の学校現場での  
IT化をどのように進めるか

**A** この事業は、2020年度から本格実施される新学習指導要領に対応するものである。また学校教育の現場で大切なツールとしてITを効果的に活用していく。



卯野 修三 議員  
大 志

能美市の魅力発信

**Q** 2020年※東京オリ・パラと2023年北陸新幹線敦賀開業と能美誕生1200年をどう活かしていくのか

**A** 昨年12月に観光戦略会議が発足し、能美市の魅力を生かす取り組みがスタートした。今後、競歩の練習コースを整備し、事前合宿の誘致を推進するほか、メダルの副賞・選手村の食器として九谷焼を使用できないかPRする。北陸新幹線敦賀開業効果を最大限に引き出せるよう県や近隣市町と連携して取り組み、能美誕生1200年の節目であることも生かせるよう検討していきたい。

消費者トラブル防止

**Q** 高齢者の消費者トラブル防止にどう取り組んでいくか

**A** 近年、能美市の消費生活センターの高齢者の相談件数の割合が高い。石川県警監修の特殊詐欺被害防止DVDを貸し出しする

ほか、市の消費者被害防止ネットワークなどの関係団体と情報を共有し、被害防止につとめる。

市役所職員の働き方改革

**Q** 今後の方向性を問う

**A** 平成31年度までの計画として、能美市次世代育成支援並びに女性職員活躍推進に関する特定事業主行動計画を策定した。これに掲げている目標達成にむけてノー残業デーの推進や年次有給休暇の取得率向上等に努めている。

ワークライフバランスの推進等の検討を重ね、職員の働きやすさに努める。また、効率のよい行政運営には職員のモチベーションを維持していくことも不可欠。先進自治体の事例も参考に検討していく。



▲健康ロード内に往復2kmの競歩練習コースが整備される予定です

※東京オリンピック・パラリンピック

一般質問

男女共同参画推進



田中 策次郎 議員  
大 志

**Q** 新年度の男女共同参画推進の取り組みと期待される成果はどのようなものか

**A** 新年度の取組みとして6月の男女共同参画推進週間にイベントを開催する。第2次能美市男女共同参画推進プラン策定に向けアンケートを実施し、調査結果を分析検証して成果が得られる施策を立案していく。

**Q** 男女共同参画社会推進を学ぶ貴重な大会である日本女性会議金沢への関わり方を問う

**A** 広報誌などを活用し積極的に市民に周知し参加を促す。行政も推進委員と共に参加し同じ方向で市民の男女共同参画社会への関心を高める工夫を考えたい。

医療的ケア児支援

**Q** 医療的ケア児を育てる親は就労が難しく、保育の受け入れ先もない。市の支援を求める

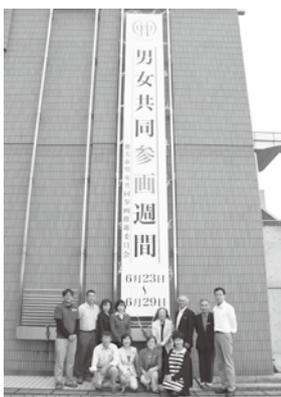
**A** 子どもが障害者年金を受給できる20歳になるまで医療的ケアに必要な医療消耗品費用の一部を助成する。また、課題解決に向けた方策について継続的に協議し体制整備の検討を行う。

いじめ虐待防止

**Q** いじめ虐待防止の新施策と、コミュニティスクールや学校運営協議会の進捗を問う

**A** 学校日より、市教育委員会ホームページ等を利用し、いじめ防止啓発の情報を発信する。いじめ・虐待・不登校の解決については保育園と小学校の連携推進を検討する。

学校運営協議会の推進体制の更なる構築と地域や家庭が担うべき教育について考え、学校と地域が一体となり迅速かつ組織的な対応ができるコミュニティスクールを目指していく。地域の目、地域の力をかりる事で、いじめ虐待防止の一助になると考える。



▲男女共同参画週間に懸垂幕を掲示。男女共同参画社会の周知に努めています



山下 毅 議員  
大 志

介護保険料

**Q** 介護保険料が県内の市町以上に高くなる根拠について問う

**A** 入所施設については、市内及び近隣市町に比較的多く整備されているが、介護療養型医療施設は南加賀地域で能美市内にしかない。また、認知症に特化した通所事業所や訪問型看護サービスが提供できる事業所など介護サービスの整備も進んでいる。さらに介護報酬が4月から0.54%引き上げられることなどが、保険料の引き上げに影響している。

農業振興対策

**Q** 加賀丸いもの作付面積拡大を推進するための振興策及び支援策について問う

**A** J Aをはじめ、農業団体と連携しながら支援をすることにも、市の広報媒体や公式キャラクターを活用し、加工品を含め積極的なPRを行うことで振興策を図る。

**Q** 農業経営者育成のため、農業経営塾を開講してはどうか  
**A** 将来の担い手確保、育成する上で有効な手段であることから、女性農業者や若手農業者及びJ A等農業関係団体の意見を聞きたい。

ヘルプカードの導入

**Q** 支援を必要とする障がい者や高齢者の方々が住み慣れた市域で安全で安心して暮らせる環境づくりを確立するためにも、ヘルプカードの導入を図れ

**A** ヘルプカードやヘルプマーク導入については、関係機関を通じて、障がいのある方たちの意向などを聞いて検討する。また、高齢者についても認知症のある方などが対象として考えられることから障がいのある方と一体的に運用することに関係者や関係機関等で検討する。



▲ヘルプカードの導入を

一 般 質 問



居村 清二 議員

除雪体制

**Q** 市民からの苦情はどのような内容でどれくらいあったのか。また、今回の大雪に対する除雪の費用対効果を示せ

**A** 苦情は、「除雪車が来ない」「家の前に雪の塊を置いていった」などが主なものであるが、件数は把握していない。市民にはご迷惑をおかけしたことは事実であるが、除雪作業は数字等で評価できるものではない。

**Q** 今後どのように改善していくのか

**A** 雪のやり場がなくなり除雪作業に支障をきたしたことから、事前に町会長、町内会長と協議し、堆積可能な場所を確保できないかと考えている。また、円滑な除雪作業を行うため、除雪機械1台当たりの除雪作業延長やその作業時間について検討していきたい。

消雪装置に関しては、連続して何日間も散水することになったため、消雪井戸の水位が低下した。

そのため、路面への拡散がままならず、機能が十分に発揮されなかったことから、適切な修繕等、改善策を検討していきたい。歩道除雪に関しては、これまでどおり、町会・町内会等地域の協力をお願いしたい。

危機管理

**Q** 今回の大雪・大寒波で危機意識が芽生えてくると感じる。市長の危機管理の思いを問う

**A** さまざまな災害が複合的に生じることを想定した総合防災訓練を重ねている。また、災害対策本部体制時に各種情報入手できるよう機器類の充実、国や県の当該部署責任者とのホットラインを締結するなど、危機管理体制の構築を図っている。

市民の安心・安全が最優先。市の体制強化を図りながら、町会・町内会とも協働で危機管理体制の強化と意識の高揚に取り組む。



▲全職員を対象とした災害対応力強化訓練



開道 昌信 議員  
大 志

人手不足・定住促進

**Q** 奨学金の貸与規模が年々拡大しているが、卒業後の奨学金返還の負担の重さが指摘されている。奨学金の返還に援助をする市内企業に支援を行ってはどうか

**A** 奨学金の返還は学生にとり、切実な問題のようだ。

能美市では向学心の高い若者の大学進学に育英資金貸与制度を設けている。この制度は、奨学金利用後、市内に居住する場合は無利息とする、また、能美市立病院で医師として勤務する場合は奨学金の返還を減免するなど独自の支援を行っている。

提案は企業の人手不足の解消と従業員への定着、能美市への移住・定住、若者の奨学金返済の負担軽減を企業と一緒に支援するという相乗効果が期待できる制度の様だ。先行している自治体の支援制度を調査研究し、産業振興会議や企業の意見も聴取しながら検討したい。

**Q** 将来有望な地元出身のアスリート等が能美市へU・I・Jターンして競技継続を目指す場合、これを雇用する市内企業へ奨励金の公的補助を行ってはどうか

**A** 能美市は松井秀喜氏を始め、世界レベル、全国レベルで活躍する、数多くのアスリートを輩出している。

平昌冬季オリンピックで活躍した多くの選手がサポーター企業から支援を受けているほか、地元企業で働いている。今後アスリートの活動を支援する動きが全国的に広がると思われる。

市内企業のアスリートの活動を支援するという提案は興味深い点があるが、市内企業のアスリート雇用に関する考え方や全国の動向を見据えて検討したい。



▲東レアローズの選手によるバレーボール教室。東レ石川工場が能美市内にある縁で毎年行われています

## 一般質問



東 正幸 議員

企業誘致と労働者雇用

**Q** 能美市を発展させていくには企業誘致による財政面の安定が必要。能美市の財政は弾力性があるのかどうか

**A** 能美市の財政構造は、県内他自治体と比較し、やや硬直化していると言えるが、経常経費の中で大きな割合を占めている公債費は、平成30年度からは年々減少していく見込みである。

今後、企業誘致による自主財源の確保に努める。また、第3次行財政改革の推進と行政評価に基づく事業の選択と集中を徹底し、経常収支比率の改善に努めていく。

**Q** 市内企業の撤退問題が表面化した。経済状況や動向、企業活動の実態をいち早く入手し、その対策を講ずることが必要な時代と考える。市長の見解はどうか

**A** 絶えず経済動向を注視するとともに、これまで誘致した企業の流出を未然に防ぐ企業留置への取り組みが重要と考えている。

具体的には、立地企業との情報交換を密にするとともに、操業環境についての要望を把握し、全庁横断的に対応することで立地後のフォローアップを進めている。企業との信頼関係を深めるため積極的に情報交換を進め、国や県、商工会等との連携も密にする。

**Q** 新たな産業団地造成構想を計画している場所は、農振農用地における農振除外のハードルが高い。その整合性の課題や地下水等の問題をクリアできるのか。

**A** 能美根上スマートインターチェンジが供用開始した。この好機を逃さず、一日も早く農村地域への産業の導入の促進等に関する法律の適用を受けることを目指し、実施計画の策定などを進める。地下水等の問題に関しては、新たに計画している産業団地では、水を大量に使用しない企業の誘致に努めたいと考えている。



▲3月25日に供用開始した能美根上スマートインターチェンジ。企業誘致や交流人口の拡大等が期待されます



嵐 昭夫 議員  
市 民

除雪体制

**Q** 委託の範囲や距離数等、能力以上に請負されている実態があるのではないかと。業者の能力に応じた委託を検討すべき

**A** 除雪作業の委託範囲、距離、除雪機械の台数等については、事前に委託業者と協議をし、業者の実績や能力に応じた契約になっていると認識している。しかし、今回は断続的に大量の積雪であったため、除雪作業時間が通常時と比較すると倍以上であった。今後は、大量の積雪時のことも十分考慮の上で、協議をしていきたい。

**Q** 下清水・出口線、根上国道線、木曾街道線は輸送用トラックの交通が多い。物流輸送道路の除雪作業を敏速にせよ

**A** 市道の中でも重要な幹線道路であり、除雪計画では2車線以上の幅員確保を原則とし、常時交通を確保する路線としている。

継続して複数回除雪作業に努めたが、低温下での降雪や車両の通

行により圧雪になったことで除雪作業が追いつかず、車両の通行に支障をきたしたと思っている。今後は気象情報の収集にもこれまで以上に気を配る。できる限り敏速で効果ある除雪作業を行うことについては、今回の検証を踏まえて委託業者と協議したい。

電子母子手帳

**Q** 子どもの検診日程や予防接種の予約日等の情報を家族間で共有できる「電子手帳サービス」専用アプリの導入を検討せよ

**A** 平成28年に電子母子手帳のデモを受けたが、既に導入している育児応援サイト「ママフレ」の機能と重なる。また、国が進めるマイナポータルでは、子育てに関する行政手続のワンストップ化に取り組んでいる。子育て関連のITサービスは過渡期的状態であり、\*マイナポータルが進みぐあいを考慮しながら、慎重に対応していきたい。



▲除雪堆積場所の少ない団地や交差点付近は早めの除雪対応を

\*マイナポータル：政府が運営するオンラインサービス。子育てに関する行政手続がワンストップでできたり、行政機関からのお知らせを確認することができる。

一 般 質 問



米田 敏勝 議員  
保守清流

医療費抑制

**Q** 能美市におけるジェネリック医薬品の使用割合はどれくらいか。また、医療費抑制に向けてジェネリック医薬品の普及をどのように進めるのか

**A** ジェネリック医薬品の普及率は平成28年度では71%で、国の平成29年度の目標である70%は達成している。

ジェネリック医薬品の使用促進については、ジェネリック医薬品差額通知を年6回発送している。また、被保険者証の1斉更新時にジェネリック医薬品希望カードを配布している。

今後は先進事例などを参考に、さらなる効果的な普及方法を検討したい。

生活保護受給者の医療扶助費

**Q** 生活保護受給者に対する医療扶助費はどれくらいか

**A** 生活保護受給状況は、平成29年4月1日現在で被保護世帯

99世帯、被保護人員118人である。生活保護費全体は、平成28年度は約1億9,900万円。その中で医療扶助費は約9,800万円であり、生活保護費全体の49%を占めている。

**Q** 国は、生活保護受給者がジェネリック医薬品を使用する割合を80%以上にする目標を設定した。市として生活保護受給者に対してどう普及させていくのか

**A** 平成30年10月から、生活保護受給者における医療扶助も医師が問題ないと判断すればジェネリック医薬品を原則的に使用することになる。また、医師がジェネリック医薬品の使用が可能と判断しているにもかかわらず先発医薬品を希望し調剤を受けた方には、保健指導員が健康管理支援を含めジェネリック医薬品使用の理解と周知指導を行っていく。



▲市のホームページには、ジェネリック医薬品を紹介するページが掲載。市民に対して情報発信されています



北村 周士 議員  
大 志

里山振興と地域資源

Q 里山地域の振興策は

A 国の農村漁村振興交付金事業を活用して、能美市国造地区ゆたかなくらし協議会を立ち上げた。国造ゆずを活用した地域おこし、豊かな暮らしを地域ぐるみで推進するため、3年計画で現地調査やプラットフォームの構築、地域資源の試作品開発等を行う。また、移住定住を視野に入れた「地域おこし協力隊」を1名新たに配置し、様々な支援活動を展開している。

市指定ごみ袋の条例改正

Q 条例改正のポイントは

A 高齢者の一人世帯の方から、ゴミの量も少ないので小さいサイズのゴミ袋があればとの声を受けて、袋の縛りやすさも考慮した、1枚あたり15円の持ち手付ゴミ袋を新たに作る。

九谷の里づくり

Q 九谷焼技術者・後継者の雇用・定着化策はあるか

A 研修所の卒業生を対象とした九谷焼後継者定着化支援事業（昨年度利用実績1名）のほか、新設するU・I・Jターン就職を促進するための就職定住家賃補助事業がある。

Q 九谷焼職人工房の新設、陶芸村の活性化策を問う

A 九谷焼の将来を担う若手後継者が、市内業者からの注文を受けつつ、自らの創作活動ができ、観光客が作陶活動を見学できる施設とし、2019年内の開所を予定している。

陶芸村については、観光戦略会議において観光拠点と位置付け、「九谷の里づくり」をしつかり議論いただけるものと考えている。リニューアルした資料館とあわせ、周辺施設との連携も深めていきたい。



▲リニューアルした九谷焼資料館。5つの展示室は、九谷五彩をイメージした色壁となっています

一般質問

雪害対策



佐伯 富美子 議員  
日本共産党

Q 中山間地の除雪・病院や福祉施設の除雪を強化せよ。緑が丘・松が岡・泉台の団地に消雪装置を設置せよ

A 屋根雪おろしは、高齢者世帯・障がい者世帯・母子世帯に補助金を出している。世帯の拡大は今後状況を見ながら検討したい。

消雪装置は、地理的条件も含め、水源の確保が困難と考えている。

水道料金の凍結

Q 水は生活に必要な不可欠なもの。公共料金の値上げで、市民生活が大変な中、福祉の観点からも水道料金は上げるべきではない。凍結を求め

A 老朽管の更新や配水池の耐震化が急務である。また、水の受水も不可欠となったため、水道料金の値上げが必要になった。

水道料金の値上げは凍結できないが、特別な理由があると認められた場合は、軽減・免除ができる。

JDI-休止

Q 助成金の返還は求めたのか。また、工業用水道会計に一般会計から4900万円の繰り入れがあるがその理由を問う

A JDIには5億円を助成している。今後のスケジュール等を精査したうえで、対応を進める。

一般会計からの繰り入れはJDIの休業による料金収入不足分、水位低下による工業用水道料金の減免等の分である。

リフォーム助成の復活

Q 市内の建設業者に仕事が回る住宅リフォーム助成制度は、地域内経済循環効果が高い。廃止した理由を問う

A 3年間の申請件数は21件。中でも、平成26年度の件数は、他市と比較して9分の1であり少ない状況。他市も事業を廃止していること等を総合的に勘案し、平成27年度に制度を廃止した。



▲市職員が一人暮らし高齢者宅などを訪問。玄関前などの雪かきを行いました



議員  
公明党  
仙台 謙三

豪雪への備え

**Q** 居住区域近くでの雪捨て場の確保は。ビニールハウスや家屋（屋根・サニールーム）などへの豪雪被害に対する補助などの救済措置はあるか

**A** 雪捨て場の設置については、公共施設の駐車場や個人の土地などで堆積可能な箇所の確保を町会長・町内会長と協議し、今後の除雪作業の円滑化に努める。

ビニールハウスの被害は、関係機関と連携を取りながら農家の負担が軽減できるような支援措置を検討する。

国の交付金は、道路除雪への財政支援で、個々の救済は含まれていない。

見やすいホームページ

**Q** 市のホームページは、誰もが閲覧・利用しやすい「\*ウェブアクセシビリティ」を導入しているか。スマートフォン用ホームページは開設されているか

**A** 高齢者や障がい者も含め、誰もが支障なく利用できるように現在、ホームページのリニューアルを進めており、2019年2月の公開予定である。

現在はスマートフォン対応となっていないが、リニューアルとなるホームページでは、画面の大きさによって自動的にレイアウトが変更される機能を採用している。

子供の助成事業

**Q** 子供達に質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会ともなる文化庁・文部科学省が実施する「子供の育成事業」の利用状況と評価について

**A** 同事業では通常は費用の面でも招聘が難しい確かな内容の団体が紹介されている。手続さが煩雑でもあり、市の小中学校からは応募も活動実績もない。

各学校では、独自に「芸術観賞会」を企画・実施している。平成29年度は小学校6校、中学校1校で鑑賞会を実施した。



▲学校での「芸術鑑賞会」より

※ウェブアクセシビリティ：高齢者や障がい者など心身の機能に制約のある人でも、年齢的・身体的条件に関わらず、ウェブで提供されている情報にアクセスし利用できること

一般質問



議員  
日本共産党  
近藤 啓子

「我が事・丸ごと」

**Q** 「我が事・丸ごと」の地域づくりは、基本的には自助・互助中心の地域づくりである。市民に対して強制であってはならないし、公的責任を果たすべき

**A** 社会福祉法の改正は、地域の生活課題について住民や福祉関係者による把握及び連携によって解決を図り、地域福祉の理念を明確にしたものである。

我が事の地域づくりは決して地域住民に解決のすべてを委ねるものでなく、市がこれまで積み上げてきた社会資源の特徴を生かした能美市独自の地域共生社会をオール能美体制でつくっていく。

また、市民、関係者、行政が横のつながりを持ち、地域包括支援体制推進協議会を進めていくことも重要な公的責任となる。

自助・互助・共助・公助の取り組みがそれぞれの役割を超えて、のりしろを広げながら果たしていくことが能美市の目指す共生社会の実現に繋がっていく。

JR能美根上駅

**Q** バリアフリーに配慮された駅であるが、ホームと電車床との段差があり降りられない。段差の解消をすべきでないか

**A** 車両の種類によって段差が生じ、特にノンステップ型で段差が大きい。駅ホームのかさ上げ等が必要であり簡単ではないが、JR西日本に要望していく。

**Q** 吹きさらしの自由通路に待合スペースを設置すべき

**A** 自由通路全体は市道であり、余剰スペースがなく設置する場所がない。東口階段下に設置する待合室を活用していただきたい。



▲新設された待合室には、空調や駅アナウンスが流れるスピーカーも設置されています。

議会では、毎年、行政視察を行っています。議員が先進地を視察し、広く見識を深めることにより市政の発展に寄与することを目的としています。  
今号では、2つの常任委員会の視察内容を報告します。

## 委員会 行政視察

### 総務常任委員会

- 岡山県玉野市 乗合タクシー「シータク」の運行
- 滋賀県米原市 乗合タクシー「まいちゃん号」の運行
- 奈良県生駒市 職員の接遇向上マニュアル

#### ●デマンド型公共交通施策に関する視察（委員会の年間テーマ）

岡山県玉野市は、乗り合いタクシーとの併用で運行されているデマンド型公共交通システムを導入。予約コンシェルジュの対応の良さ、使い勝手の良さ、時間の確実性、乗り継ぎの接続のスムーズさが評判である。今後の課題は、収入の確保、利用者ニーズへの対応、料金の改定の検討や乗り合い率の効率化などがあげられる。

滋賀県米原市は、路線バスと完全予約制のデマンド方式乗合タクシーを導入。無駄な便や区間はなるべく廃止し、事前に電話予約のあった便のみ運行、かつ利用者のいない区間は運行しない乗合タクシーによるピックアップ型のデマンド交通制度を採用した。

能美市においても、現行制度の利便性の向上や効率性を求めてゆく事とあわせて、どのような公共交通サービスが利用者にとってより良いものであるか、民間業者との連携や運行車両の小型化・効率化などともあわせて、柔軟な発想で施策を展開する事が必要であり、市役所担当部課とも協議・検討を進めていきたい。

#### ●市役所の接遇マニュアルに関する視察

奈良県生駒市は、接遇向上推進チームを設置し、窓口や電話等における職員の接遇改善、挨拶励行等、職員のマナー向上、たらいまわし防止、案内表示の改善等、利用者の利便性向上や見た目の清潔感の向上などを推進するとともに、市民アンケートをもとに生駒市接遇マニュアルを策定した。

今回の視察においては、先進地におけるマニュアルの策定などについて価値ある事例を学ばせて頂く事ができ、能美市における接遇のさらなる向上について、利用者の声を参考にしながら、市役所担当部課と利用者目線に立った接遇のあり方について、現状を検証し、今後の改善施策に向けての調査・議論を進めていきたい。



▲生駒市議会にて説明を受ける議員

### 教育福祉常任委員会

- 福岡県宇美町立井野小学校
- 山口県下関市教育センター
- 山口県下関市立歴史博物館
- 福岡県福岡市博物館
- 山口県山口市立瀧上中学校

#### ●コミュニティ・スクールに関する視察（委員会の年間テーマ）

福岡県の宇美町立井野小学校では、学習指導や田植え体験、昔遊び指導などが町民参加で行われており、「学校も家庭も地域も生き生きする校区づくり」をテーマに中学校での導入も進んでいる。下関市では、「CSルーム」と呼ばれるコミュニティ・スクールの事業を行うための部屋が学校ごとに用意されており、その導入率も70%に及んでいる。山口市立瀧上中学校では、部活動の一環として生徒がコミュニティ・スクールの企画立案を行い、地域活動に取り組むことの意義を早い段階から学ばせているほか、30代～40代の主婦層がコーディネーターを務め、主導的な役割を果たしていた。

視察先の各自治体は、人口減少時代の到来を見据え、子どもたちが大人になって、地元へ戻ってくるための施策であると位置づけ、積極的な活動を行っていた。能美市においても、現状の取組を再評価し、地域と学校、将来の地域づくりの担い手、郷土愛の醸成を図るための積極的な施策が必要である。

#### ●博物館のリニューアル、新設に関する視察

福岡市博物館は、国宝の金印を有する博物館で、近年、リニューアルがなされた。展示物の配置や、子供向けのガイダンス、展示動線が工夫されており、既存の建造物をうまく生かした展示や展示物を集中的に見せる工夫が取り入れられている。

下関市立歴史博物館は、開館1年を経た新設の博物館で、20年来の構想が実現したものである。市内の観光施設や文化財を最先端技術を用いて確認できる映像資料や、AR技術を用いたコンテンツ、アプリを利用した展示解説などが盛り込まれている。

能美市が新設計画をしている博物館の展示動線、設備、ソフト展開において学ぶべき点が多く、継続して教育委員会と積極的な議論を行っていきたい。



▲下関市立歴史博物館で展示品の説明を受ける議員

# PTA連合会 × 市議会

2月22日(木)、能美市PTA連合会  
役員の方々と意見交換会を行いました。  
PTA活動の現状や家庭・学校・地域との連携における課題などを語っていただきました。

## 現場の先生方の悩みや苦勞を聞かせてほしい 保護者が協力して先生の悩みを 解消できることがあると思うんです。

「PTA活動の現状と課題は何でしょうか。この1年を振り返ってどうでしたか。」

「子どもが減ってきている現状で、問題になるのが予算。PTAの事業はお金がかかるので、今までの事業を続けることができなくなっています。予算をどう立てていくかというのが課題ですね。」

「次の役員を選ぶ仕組み。直接声かけをするシ

ステムなので自分の後任を探すことに一生懸命にならないといけません。とてもいい活動ですが、すごく課題だと感じています。」

「PTA役員は1年で交代することが多い。PTA活動を活性化させようと思ったら、1年は勉強期間で、次年度にいろんな提案ができるような仕組みに変えないと発展しづらいと思います。」

「PTA活動でよかったのは、つながりが持て



意見交換会に参加したPTA連合会の皆さんと市議会議員

たことです。いろんな懇親会にも参加できませんし、学校の活動も知ることができませんでした。」

「小さな町会になると子どもがいまません。少ない人数でもPTA活動に参加しなければいけないとなると負担が大きくなってきます。これにどう対応していけばいいのか不安もあります。」

「PTA活動にはいろんな人に入ってきてほしいです。私は能美市のPTA連合会は「笑っ



P T A役員を引き受けてよかったことを伝えていきたい。そうすれば次の成り手も増えてくるのではないかという意見もありました。

て楽しくPTA」というテーマでやっています。やっている本人が楽しくなければいいものもできません。

〈家庭・学校・地域との連携における課題はありますか〉

■地域とのつながりがいいことですね。子どもが町の人の名前も知らず、町の人も子どもの名前を知らないような感じですが、少しずつ学校と地域が連携してはいますが、もう少しコミュニケーションが取れるような仕組みになればいいと思っています。

■寺井小学校は春の総会のあとに懇親会を開いています。その懇親会は地区の会長や役員、PTA役員、町会長、市議会議員も参加しているので、こういう機会を通じて先生の距離が近くなり、町会とのつながりも深くなっています。

■PTA活動では、校長先生や教頭先生とはよく話しますが、本場に聞きたいのは、現場の先生方の生の声。担任の先生や補助で入っている先生の悩みや苦勞を聞きたいんです。そういう意思疎通がないから、何か誤った情報とか、誤った理解があるのではないのでしょうか。話し

合いではじめてわかることが多くあります。保護者が協力して先生方の悩みを解消できることも絶対にあると思います。

〈他に何かありませんか〉

■和気小学校は、新興住宅地の子どもが多い。例えば、鍋谷の蟹淵の話が「日本昔ばなし」に出たことがあります。市外から来られた人は知らないんです。今まで大事にしてきたものがうまく伝わっていかないのがもどかしいです。

■災害発生時の避難所に和気小学校が指定されています。和気小学校の裏山が土砂災害警戒区域に指定されているのを何とかしてほしいです。そうしないと地域の皆さんがここで生きていこうという気持ちにはならないと思います。安全に対することなので最優先してほしいです。せめてビジョンや計画が示されて先が見えればいいと思います。

〈きょうの意見交換会の感想や議員に対してどういう印象を持ちましたか〉

■ざつくばらんに話せて本当に良かったです。こういう機会を通じていろんな立場の人とコミュニケーションできればもっといい形になると思います。

■議員も一市民であり、話やすくして親身になって話しを聞いてくれました。色んな立場の人や行政の力も借りないとうまくできることもできないことあるので協力をお願いしたいと思います。

# 森善克議員が逝去

森善克議員が、去る1月29日に逝去されました。3月定例会の初日の本会議で田中策次郎副議長が追悼の言葉を述べました。

## 追悼の言葉

このたびの突然の訃報は、私たち議会の同僚にとりまして驚きと無念の思いでいっぱいであり、昨年11月に2期目がスタートし、産業経済常任委員長として「これから」というときでしたので、とても悔しい思いであったと推察する次第です。

かねてから、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、「競歩のまち 能美市」として、五輪合宿を誘致するためには、議会が一丸となって取り組まなければならないと、意欲を見せていました。その矢先の訃報であり、余りにも早過ぎるお別れです。

石川県の人口減少が現実となりつつある昨今、能美市の担う役割は大変重要な立場にあります。このようなときに、森善克君を失うことは、市民にとっても大変残念なことであり、今、ただただ哀悼の誠を捧げ、残された私たちは、その遺志を引き継ぎ、能美市民の幸せのために力を尽くすと約束することが森善克君の御功績に報いることだと思います。

ここに、心から哀悼の意を申し上げます。追悼の言葉といたします。



▲議会報告会で新年度予算の審査内容を説明する森善克議員

## こんな活動しています

### 1月

- 10日 議運（臨時会会期日程）  
広報（議会だより57号の編集）
- 12日 教福（各課報告）
- 16日 議運（臨時会議事日程）  
全協（ " ）  
本会議（正副議長選挙）
- 23日～25日 教福視察（宇美町、福岡市、下関市、山口市）
- 24日～26日 総務視察（玉野市、生駒市、米原市）
- 26日 産経（各課報告）
- 31日 視察受入（御殿場市：子育て支援施策）

### 2月

- 5日 広報（意見交換会）
- 8日 教福（各課報告）
- 13日 総務（各課報告）
- 15日 産経（各課報告）
- 20日 議運（第1回定例会会期日程）  
全協（ " ）
- 28日 議運（議事日程）  
全協（ " ）  
本会議（開会、議案上程、提案理由説明）

### 3月

- 2日 議運（代表質問・一般質問発言順ほか）
- 12日 議運（議事日程）  
全協（ " ）  
本会議（代表質問・一般質問）
- 13日 本会議（一般質問、質疑、委員会付託）
- 14日 予算決算常任委員会全体会  
教福、予算決算教福分科会（付託案件の審査）
- 15日 総務、予算決算総務分科会（付託案件の審査）
- 16日 産経、予算決算産経分科会（付託案件の審査）
- 22日 予算決算常任委員会全体会
- 議運（第2回定例会会期日程他）
- 23日 議運（議事日程）  
全協（ " ）  
本会議（委員長報告、質疑、討論、採決、閉会）  
広報（議会だより58号のレイアウト案）

総務…総務常任委員会 全協…議会全協協議会  
産経…産業経済常任委員会 広報…広報特別委員会  
教福…教育福祉常任委員会 基地…基地対策特別委員会  
議運…議会運営委員会

平成30年

## 6月定例会のお知らせ

（会期：6月4日～6月21日）  
皆さまお気軽に傍聴にお越しください

- 6月4日(月) 提案理由説明
- 6月12日(火) 一般質問
- 6月13日(水) 一般質問
- 6月21日(木) 委員長報告、  
討論、採決

## ご意見・ご感想

『のみだより』へのご意見・ご感想や能美市議会へのご意見などございましたら、下記の宛先までお寄せください。

〒923-1297 能美市来丸町1110番地  
能美市議会事務局  
TEL(0761)58-2240 FAX(0761)58-2295  
E-mail: gikai@city.nomi.lg.jp

## 編集後記

今冬、「雪かきで身体の節々が筋肉痛、まるで立山アルペンルートみたい」。降り積もった雪の写真を沖繩の友人にメールしました。

さっそく「大変ですね～」っと、お見舞い返信。そして結びの一文、「沖繩も台風の時期は何日も家に閉じ込められます。でも北陸の銀世界、とっても羨ましいです」。

そうか、私たちの住むこの故郷は「きたぐに」。

昔の人は自然の贈り物、雪が降った情景を「銀世界」と称し、愛でた。フィギュアスケートの選手が舞うリンクは、そう「銀盤」。なんて風流でお洒落なんだろうか。

南国の地域では味わうことのできない、この北陸独特の雪と、うま～く付き合う「付き合い上手」になろう、そんな風に気持ちを切り替えることになった豪雪でした。  
(開道昌信)

広報特別委員会 委員長：仙台 謙三 副委員長：北村 周士 委員：開道 昌信、田中策次郎、佐伯富美子、卯野 修三、山下 毅